

# 昭和54年4月1日から令和2年8月31日に 当院で血液維持透析を受けられた方へ

## 研究実施のお知らせ

研究の題名 : 単一施設における血液維持透析患者の脳卒中発症リスクの解析  
研究期間 : 実施承認日～令和3年1月31日  
対象となる方 : 昭和54年1月1日から令和2年8月31日に当院で血液維持透析を行った患者  
研究代表者 : 寺岡記念病院 脳神経外科 医員 青野 峻也  
研究分担者 : 東京大学 脳神経外科 助教 新谷 祐貴  
研究責任者 : 寺岡記念病院 会長 寺岡 暉

当院において上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成29年5月30日施行)に基づき、匿名化された情報(診療録等)の研究利用について、以下に公開いたします。

### 【研究の目的と意義について】

血液維持透析を行っている患者さん方は心血管系の病気のリスクを抱えており、脳卒中になりやすいと言われてきました。しかしその種類や割合は以前とは大きく変化しています。当院で血液維持透析を受けられた患者さん方の背景因子や治療の内容・変遷を調査することで脳卒中の原因を見つけ出し、今後の臨床の場における治療方法に役立てることを目的としております。

### 【研究の方法について】

本研究では、診療録を利用し当院で血液維持透析を行った患者さんの背景、透析治療の内容、脳卒中の有無、転帰等を調査します。この上で脳卒中の種類や原因、時期ごとの発症の変遷を主に検討します。この研究は寺岡記念病院単一施設での調査であり、当院の『医の倫理審査委員会』の承認および病院長許可を得て、実施します。

この研究で使用する情報は、オプトアウト(通知又は公開と拒否する機会の提供)により入手し、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)データです。

なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていただくことはありません。

### 【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、匿名化した上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。外部協力機関とデータをやり取りする際は匿名化したデータのみをやり取りし患者本人が特定できないように扱います。

### 【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又はFAXにてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又はFAXにてご連絡ください。

〈お問い合わせ等の連絡先〉

寺岡記念病院 脳神経外科 医員 青野 峻也  
TEL : 0847-52-3140 [ikyoku@teraoka-hosp.jp](mailto:ikyoku@teraoka-hosp.jp)